

計画的に学習しよう!

はやいもので、期末テストまであと3週間で切りました。毎日の勉強は順調に進んでいますか。中間テストの点数一覧が配付され、頑張って勉強してよかったと思った人もいれば、「期末こそは頑張ろう!」と思っている人も多いでしょう。そこで今号では、期末考査に向けて学習効果をさらに高めるための「計画的な学習」について紹介します。

1 計画的な学習を行う

「計画的な学習」には2つの要素があります。それは「計画を立てる」と「計画を実行する」ことである。

(1) 計画立案力を高める

ア 時間、期間を確認する

計画する時間は何時間なのか、何日なのか。計画できる時間をまず確認します。

イ 何を行うか確認する

勉強する科目は? 範囲は? 学習量は? 計画しなければならない学習量を確認します。

ウ 自分の能力を確認し優先順位を決める

戦略の基本は、重要度(プライオリティ)を決定することにあります。重要なものから順に時間をかけていきます。考査の場合は、まずは不完全な部分を完全にしていくのです。

(2) 計画遂行力を鍛える

ア 手際よく計画どおり学習する

計画を立てるのが得意でも実行できない人がいます。コツコツと計画を遂行する力を、ぜひ身に付けたいものです。

イ 実際に出来たかどうか確認する

成果を得られるように計画を遂行できたか評価することも計画遂行力に含まれます。

2 分からないところを分かるようにする

これは学習の基本です。何となく勉強をしてもダメです。手段が目的化してしまうことがよくあります。大切なのは、どれだけ勉強したか、どれだけ読んだかではなくどれだけ得たかなのです。分からないことを分かるようにするという学習の基本に常に立ち返ってください。そのためには、まず、何が分からないのかを把握することです。あとは、それを分かるようにするだけです。

3 教科書を何度も読んで全体像を把握する

学習というものは、最終的には全体が理解できなければ分かったことになりません。部分的に理解しても、全体の姿が見えないと、学習は定着しませんし、理解も深まりません。全体を理解するためには、教科書を何度も読み返すことをお勧めします。要点やポイントだけを見ていては全体は見えてきません。全体像をつかむには、私が知る限り教科書が一番です。

4 問題を解いて確認する

知識は使わないことには試されません。試されなかった知識は使い物になりません。多くの人の定期考査の学習は理解し、覚えることで終わっていると思います。活用してこそ知識は「生きた知」となるのです。覚えたことを吐き出すという「消費的な学習」から学んだことを何かに使うという「生産的な学習」へと学習の質を高めていきましょう。問題を解くことは、「生産的な学習」への第一歩です。

※期末テストの点数一覧を受け取ったときに笑顔になれるように計画を立てることから始めよう。